

2022年3月23日

2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向け メタネーション実証試験を開始

東京ガス株式会社

東京ガス株式会社（社長：内田 高史、以下「東京ガス」）は、本日、東京ガス横浜テクノステーション（横浜市鶴見区）にて、メタネーション実証試験^{*1}（以下「本実証」）を開始しました。

本実証は、再生可能エネルギー由来の電力調達から水電解によるグリーン水素製造、更に合成メタン製造・利用までの一連の技術・ノウハウの獲得、水電解装置・メタネーション装置（サバティエ）の実力値や課題の把握、システム全体での効率等の知見獲得を目的として実施します。

また、横浜市等との連携^{*2*3}による地域のカーボンニュートラル化に向けた地産地消モデルの検討や、より大規模な実証試験、サプライチェーンの構築に向けた課題抽出と解決策の検討も進めています。将来的には、一層の高効率化や低コスト化が期待できる革新的メタネーション技術である「ハイブリッドサバティエ」^{*4}「PEMCO₂還元」^{*4}「バイリアクター」^{*5}等についても、国立研究所、大学、企業などさまざまな機関と連携して技術開発を進め、早期の実証試験の開始、実用化を目指します。



実証施設開所式の様子



メタネーション装置

東京ガスグループは、経営ビジョン「Compass2030」において「CO₂ ネット・ゼロへの挑戦」を掲げ、ガス体エネルギーの脱炭素化に向け、メタネーション・水素製造を自社コア技術として確立することを目指しています。本実証を通じ、技術開発の更なる早期実現を図り、CO₂ ネット・ゼロをリードすることで、政府が掲げる「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現」に貢献してまいります。

*1: [メタネーション実証試験を2021年度内に開始（2021年7月7日発表）](#)

*2: [横浜市と東京ガスがメタネーションの実証試験に向けた連携協定を締結（2022年1月18日発表）](#)

*3: [CCU実証試験を横浜市および三菱重工グループと共同で開始（2022年2月24日発表）](#)

*4: [JAXAおよび山口大学とメタネーション技術実証に向けた共同研究を開始（2021年12月22日発表）](#)

*5: [バイリアクターによるメタネーションの技術実証に向けた産学共同研究の開始について（2021年10月13日発表）](#)

以上